

としよかんだより

中央図書館 974-1112
石川図書館 964-5166
勝連図書館 978-4321

慰霊の日にむけてよんでみませんか?

- ・『ドキュメント 沖縄 1945』(一般書)
 玉木 研二著/藤原書店 所蔵館 中央・石川・勝連
 証言記録・史実などをとくに日ごとに再現した同時進行型のドキュメント本。
- ・『戦場の「ベビー!」タッチャンとオカアの沖縄戦』(児童書)
 三木 健/ニライ社 所蔵館 中央・石川
 戦争のなか、たくましく生きた母と子のお話。
- ・『ブナガヤと山善オジー』(児童書) 所蔵館 中央・石川・勝連
 たいら みちこ著/手染工房「ブナガヤ」
 子どもと一緒に平和について考える絵本。
- ・『ツルとタケシ』(児童書) 所蔵館 中央・石川・勝連
 儀間 比呂志/清風堂書店
 ハンセン病の妹と戦渦のなか妹を支える兄の物語。

古雑誌のリサイクル

市立中央図書館では、6月17日(土)から30日(金)までの間、保存期間切れの古雑誌のリサイクルを行ないます。お一人十冊まで、無料で提供いたしますので、どうぞご利用ください。
※お問い合わせは、市立中央図書館までお願いします。

平和資料展

主催:石川図書館
期間:6月16日(金)~6月30日(金)
※体験談講話:6月25日(日)午後3時~
【話し手】新城 紀秀【場所】石川地区公民館



- ・毎週月曜日
- ・6月22日(木)館内整理日
- ・6月23日(金)慰霊の日

防災一口メモ

梅雨です。大雨災害に注意しよう!

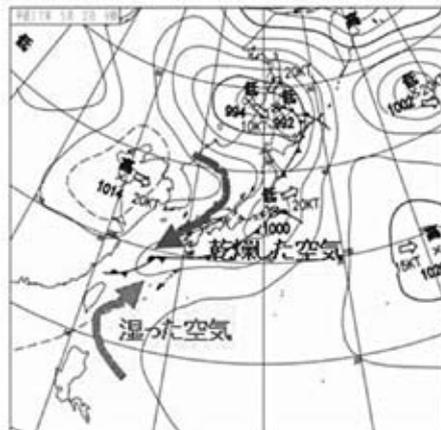
沖縄地方では、5月8日頃に平年の梅雨入りを迎え、6月23日頃まで40日以上梅雨の期間となります。この期間が24節気の「小満」と「芒種」にあたることから、沖縄では梅雨の時期を「スーマンボースー」と呼んでいます。

梅雨前線は、乾いた空気を持つ大陸側の移動性高気圧と、湿った空気を持つ太平洋高気圧の境目に位置します。二つの高気圧が押し合いながら、梅雨前線を北に押し上げたり、南へ下げたり、あるいは停滞させることもあります。

南からの湿った暖かい空気は、太平洋高気圧の縁辺に沿って梅雨前線に流れこみ、大量の水蒸気を補給させながら梅雨前線を活発化させ大雨を降らせることもあります。

梅雨期には大雨による災害が多く発生します。記憶に新しいところでは、2005年6月中旬の梅雨末期に、本島地方で連日雷を伴った激しい雨が降り続けました。このため各地で土砂崩れ、道路の損壊、浸水被害などが多発し、地域住民へ避難勧告が出されたり自主的に避難した人もいました。

気象台は、大雨により重大な災害が予想される場合に「大雨警報」を発表して厳重な警戒を呼びかけます。また、土砂災害発生危険度が高まった場合には、気象台と沖縄県が共同で「土砂災害警戒情報」を発表します。これらの防災気象情報は、発表されると防災行政無線やテレビやラジオで放送されます。大雨による災害が「まさか?自分のところに・・・」とならないように日頃から家の回りを点検して災害に備えるとともに、気象台が発表する最新の防災気象情報を利用しましょう。



2005年5月2日 沖縄地方が梅雨入りした日の天気図